



PRESS RELEASE

2018年5月9日
JOHNNIE WALKER

ブレンドなライブ&トークステージ「JOHNNIE & BLENDED NOTES」 東京ミッドタウン日比谷での3日間の特別ステージは、大盛況のうちに終了

世界 No.1 スコッチウイスキーブランド*「ジョニーウォーカー」は、5月2日、3日、6日の3日間にわたり、東京ミッドタウン日比谷（東京都千代田区）に設置された野外ステージにて、ミュージシャン同士の個性をブレンドした特別なライブ&トークステージ「JOHNNIE & BLENDED NOTES」を開催いたしました。ステージ前の日比谷ステップ広場ではコンセプトバー「JOHNNIE & HIGHBALL Hibiya Garden」が期間限定（5月20日まで）でオープンしています。

（※ Impact Databank 2016 に基づく販売数量）



（※写真：左からそれぞれ、5月2日、3日、6日のライブの様相）

本イベントでは、ブレンドウイスキーとして愛されているジョニーウォーカーが創業以来こだわり続けてきたウイスキーの“ブレンド”を“JOHNNIE &”というコンセプトとして表現しています。空間や文化、そしてそこに集う人たちをブレンドすることで、訪れた人々に一人では得ることのできない体験や刺激を提供し、前向きな気持ちを後押しするきっかけを作ります。JOHNNIE & BLENDED NOTES では、ミュージシャンが自分とブレンドしたいアーティストとの演奏とトークで、人と音楽を日比谷という場所でブレンドしました。イベント前半ではアーティストによるブレンドライブを、後半では人生における「ブレンド」体験をテーマにしたトークセッションを行いました。

【5月2日】 荒井岳史 (the band apart) & 村松拓 (Nothing's Carved In Stone) / MC : ジョー横溝



あいにくの小雨で中止も危ぶまれた野外ステージの寒空の下、ジョニーウォーカー特製のハットをかぶった荒井さんと村松さんによるブレンドライブが敢行されました。Nothing's Carved In Stone の楽曲「Red Light」と、荒井さんのソロ曲「K と彼の自転車」の2曲が披露され、ともにギター&ボーカル担当である両氏によるアコースティックギター演奏と歌声で集まった観客を魅了しました。ブレンドトークでは「お互いの呼吸が大体わかっている（荒井さん談）」という二人による軽快なトークが行われ、荒井さんは「いろんな人と話していること自

体が音楽のインプットになる。ミュージシャンとして暮らしているだけでブレンド体験が常に起きている」と語り、村松さんは「ブレンドって出会いだと思う。いろんな人いい影響を与えて自分もいい影響をもらって、いろんな人とブレンドできたらいいと



JOHNNIE WALKER

思う」と語りました。野外ステージでの雨という恵まれない状況ですらも、他では味わえない一度限りのブレンド体験となり、演者・観客ともに忘れられないステージとなりました。

【5月3日】金子ノブアキ&PABLO a.k.a.WTF!?(Pay money To my Pain) / MC: ジョー横溝



日比谷の街に広がる美しい夕暮れをバックにして「ジョニーハイボール」を片手にステージに登場した金子ノブアキさん、そしてPABLOさんとマニピュレーターの草間 敬さんの3人によるブレンドライブが行われ、金子ノブアキさんの楽曲「Tremors」と「オルカ」の2曲が披露されました。金子さんはホップするリズムに合わせしなやかなフォームでドラムスをプレイ。幻想的なシーケンスに絡む2人のリズムとギターが日比谷の街に響き渡りました。20年近い交流があるという金子さんとPABLOさんによる2人のブレンドトークでは、普段は演奏前

にお酒を飲むことはないという金子さんは「今日は特別ですね、すごく楽しかった。」と感想を漏らしつつ「人はひとりでは生きられない。人に背中を押される場面はそこかしこに転がっている。できるだけいろんな人、特に自分とは遠いことを考えている人に会って驚きたい」などと語りました。また、PABLOさんは「東京に出てきて、歩き続けてここまで進んできた。今は、これまでと違うやり方も模索している」などと語りました。沈みゆく夕日という美しいひと時ともブレンドし、最高のステージとなりました。

【5月6日】山崎廣和 (toe)&コトリング / MC: 中村圭作



Hibiya Festival における日比谷ステップ広場での最後を飾るステージとして、toe の山崎廣和さんとコトリングさんによるブレンドライブが開催されました。一曲目はコトリングさんの楽曲で、アニメーション映画『この世界の片隅に』の主題歌でもある「悲しくてやりきれない」、2曲目はtoeの代表的な楽曲「グッドバイ」が披露されました。集まった聴衆は、コトリングさんのキーボードとメロウな歌声、そして山崎さんのギターと歌声が醸し出す独特な音楽に聞き入りました。ブレンドトークでは、普段はサポートでtoeのキーボードを担当し、当日も演奏に

参加した中村さんのMCを介して、山崎さんとコトリングさんの出会いや、お互いの海外での経験などを語り合いました。山崎さんは、「ライブの盛り上がりは、来ているお客さんの空気」で決まると語り、お客さんとのブレンドがライブの雰囲気左右することなどを語りました。コトリングさんも「声援があるともっとがんばっちゃおうかな、と思うことがある」などとコメントしました。

こうしてJOHNNIE & BLENDED NOTESの最後のライブは幕を閉じました。

コンセプトバー「JOHNNIE & HIGHBALL Hibiya Garden」は引き続き5月20日(日)までオープンしています。毎日数量限定でジョニーウォーカーのオリジナルハットのプレゼントも実施していますので、ぜひ会場へお立ち寄りください。



JOHNNIE WALKER

【JOHNNIE & HIGBALL Hibiya Garden について】



ジョニーウォーカーの“ブレンド”を“JOHNNIE &”というコンセプトを体現する期間限定のバー。日比谷という空間や文化、そしてそこに集う人たちを、スモーキーさをはじめとするジョニーウォーカーの特長的なフレーバーとともにブレンドし、訪れた人々に一人では得ることのできないブレンド体験を提供します。

場所：東京ミッドタウン日比谷 日比谷ステップ広場

“JOHNNIE & HIGBALL Hibiya Garden”

期間：5月20日(日)まで / ※雨天中止

時間：平日 17時～22時 (21:30 L.O.)、土日祝日 12時～22時 (21:30 L.O.)

メニュー(税込)：ジョニーハーボール(500円)、ジョニーハイボール(クラフトスタイル)(500円)、バーガー3種類(各1200円)、フィッシュ&チップス(900円)、シーズナルピクルス&オリーブ(500円)など



以上

【ジョニーウォーカーについて】

1820年、創業者ジョン・ウォーカーがオープンした小さな雑貨店で取り扱っていたスパイスや紅茶のブレンドにインスピレーションを得て、ウイスキーをブレンドしました。当時必ずしも品質が一定ではなかったウイスキーに、高品質での安定供給、そして多様な原酒をブレンドすることによる奥深く豊かな味わいをもたらしました。以来約200年にもわたりジョニーウォーカーはブレンド技術にこだわり続け、その味わいは世界No.1のスコッチウイスキーブランドとして愛されています。そのジョニーウォーカーの集大成とも言えるのが「ジョニーウォーカー ブラックラベル 12年」です。世界で初めて12年熟成をコンセプトにしたとされるブレンデッドスコッチで、その奥深く豊かな味わいは「傑作」や「ultimate」などと称されています。

Facebook <https://www.facebook.com/JohnnieWalkerJapan/>

Instagram <https://www.instagram.com/johnniewalkerjapan/>



<本件に関する報道関係者からのお問い合わせ先>

Johnnie Walker 広報事務局 (エデルマン・ジャパン(株)内) 担当：坂井、高野

Tel: 03-4360-9000 | Fax: 03-4360-9001 | E-mail: JW@edelman.com